

令和3年度 学校評価（最終）について

- 1 対象： 本校教職員 66人（管理職，特別支援学校看護師を除く）
- 2 実施期間： 令和3年12月21日（火）～令和3年12月28日（火）
- 3 内容： 16の評価項目（7のカテゴリー）
 - ※ カテゴリーは，学校経営方針との関連で設定
 - ※ カテゴリー内に複数の「評価項目」を設定する。評価項目は，「重点取組事項との関連で設定するもの」（重点）と「それ以外のもの」（通常）で構成する。

4 評価方法

- ア 4段階評価「A・B・C・D」（表1，表2参照）
- イ 評価（判断）が困難な項目に関しては，「無回答：N」とする。

表1 評価基準表①

評価	評価基準
A	<p>（実施「済」，かつ，ねらい「十分達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの80%以上が達成されている。
B	<p>（実施「済」，かつ，ねらい「まあまあ達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの50%以上80%未満が達成されている。 <p>（実施：「未」，かつ，計画性「十分」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で年度初めの分掌計画に基づき，係での検討や職員への提案・周知がなされ，進められている。
C	<p>（実施：「済」，かつ，ねらい「やや未達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの20%以上50%未満が達成されている。 <p>（実施：「未」，かつ，計画性「やや十分」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で進められつつある。
D	<p>（実施：「済」，かつ，ねらい「未達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，現時点でねらいが19%未満達成されている。 ○ 予定された取組が，実施時期を逃して未実施の状況にある。 <p>（実施：「未」，かつ，計画性「不十分」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点取組事項の具体的な取組が，校務分掌の係業務として年間計画（校務分掌報告会資料）に反映されていない。（年度当初から計画されていない。） ○ 大幅な改善が必要である。
N	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施状況や計画の進捗がよく「分からない」若しくは，上記の判断ができない場合は「N」と回答する。 無回答。

表2 評価基準表②

達成↑ねらい達成状況↓未達成		実施 （実施済み～取組進行中）
	80%～100% 達成	A
	50%～80%未満 達成	B
	20%～50%未満 達成	C
	20%未満 達成	D

5 集計結果について

(1) 回収率：100%（66人）（管理職，特別支援教育看護師は除く）

(2) 課題項目，成果項目について

課題項目，成果項目を次のように設定する。

ア C，Dの評価が全体の20%以上・・・課題項目

イ Aの評価が全体の33%以上・・・成果項目

ウ Aの評価が全体の33%未満・・・成果項目を目指す項目

	中間
課題項目	該当項目なし
成果項目	15項目／全16項目
成果項目を目指す項目	1項目／全16項目

上段（中間評価）
下段（最終評価）
Aの割合 C，Dの割合

			上段（中間評価）	
			Aの割合	C，Dの割合
教育公務員としての責任・自覚 （経営方針(1)）	①（通常）	人権ヒヤリハットについて，事例の振り返りや相互チェックを定期的に行い，教職員としての適切な言動ができるように心掛けているか？	53.0% ↓52.2%	3.0% 0.0%
	②（通常）	教育公務員としての責任を自覚し，職員相互に声を掛け合いながら服務規律の厳正確保に努めているか？	51.5% 61.2%	3.0% 0.0%
業務改善への取組 （経営方針(1)） （県の重点取組事項）	③（重点）	適正な勤務時間（定時退庁日，時間外勤務月45時間以内）を意識し，やるべきことに優先順位を付け，計画的に業務を行うことができているか？（重点取組(1)）	33.3% 46.3%	10.6% 3.0%
	④（重点）	教材研究の時間を確保し，データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら，効率的な授業準備がなされているか？（重点取組(1)）	31.8% 41.8%	6.1% 3.0%
安心して学べる教育環境の整備・改善 （経営方針(2)）	⑤（通常）	ヒヤリハット事例を素早く報告（情報共有）し，再発防止のための対策や改善策に活用されているか？	69.7% 71.6%	1.5% 0.0%
	⑥（重点）	教室や学習の場，校内の施設などの整備・点検を行い，省エネを意識し，教育環境の改善に努めているか？（重点取組(2)）	48.5% 56.7%	6.1% 0.0%
児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育活動 （経営方針(3)）	⑦（重点）	目指す資質・能力を明らかにし，児童生徒が自らの課題に気付き，改善に向けた実践につながる教育課程の工夫に取り組んでいるか。（重点取組(3)）	37.9% 46.3%	1.5% 0.0%
	⑧（重点）	児童生徒一人一人が役割を自覚し担うことのできる教育活動の推進に努めているか。（重点取組(3)）	47.0% 53.7%	3.0% 0.0%
	⑨（通常）	新型コロナウイルス感染症対策に努め，地域の人的・物的資源の活用方法を工夫しながら，教育活動に取り入れることができたか。	51.5% 55.2%	1.5% 0.0%
一人一人の教育的ニーズに応える指導の充実 （経営方針(4)）	⑩（重点）	児童生徒の能力や特性等を踏まえ，個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか。（重点取組(4)）	37.9% 44.8%	0.0% 0.0%
	⑪（重点）	大島スタンダード，授業改善シート等の活用と改善を通して，主体的で対話的で深い学びを目指した授業実践及び学習評価の充実を図っているか？（重点取組(4)）	27.3% ↑32.8%	7.6% 3.0%
関係者（機関）等との協力・連携 （経営方針(5)）	⑫（重点）	進路指導や生徒指導に対する意識を高くもち，児童生徒の状態について家庭や関係機関と共通理解を図り組織的な生徒指導が行われているか？（重点取組(5)）	42.4% 46.3%	1.5% 1.5%
	⑬（重点）	就学相談やケース会，教育相談等を通して学校間や学部間の連携や学びの連続性につながる取組を行っているか？（重点取組(5)）	47.0% 52.2%	0.0% 0.0%
	⑭（重点）	児童生徒の健康の保持・増進（食に関する，歯磨き指導，運動の習慣化等）のための取組を家庭と連携して行っているか？（重点取組(2)）	34.8% 49.3%	0.0% 0.0%
本校における教育活動の理解・啓発 （経営方針(6)）	⑮（重点）	センター的機能の充実を図るための取組（巡回相談，学校見学）を企画・運営し，本校の教育活動の理解・啓発に努めているか？（重点取組(6)）	54.5% 61.2%	3.0% 0.0%
	⑯（重点）	ホームページの定期的な更新を行い本校の活動を伝えることができているか？（重点取組(6)）	30.3% 62.7%	6.1% 0.0%

6 学校経営方針項目ごとの評価

※○内番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

項 目
(1) 公教育の基盤に立ち、人権尊重の教育のもと、教育公務員としての責任を自覚し、業務改善、教職員相互の信頼と協力により、心豊かにたくましく生きる人間を育成する。 ①②③④
(2) 保健、衛生及び安全管理の徹底を図り、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備する。 ⑤⑥
(3) 新学習指導要領における育成を目指す「資質・能力」の3つの柱を踏まえ、持続可能な社会の実現のために児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育課程を編成する。 ⑦⑧⑨
(4) 児童生徒の的確な実態把握と分析による適切な個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応える指導を行う。 ⑩⑪
(5) 家庭や児童福祉施設、近隣の幼・保・小・中・高等学校、地域社会及び関係機関との協力・連携を密にし、教育効果の向上と指導・支援の共有化を図る。 ⑫⑬⑭
(6) インクルーシブ教育の推進に向けて、大島地区唯一の特別支援学校としてセンター的役割を充実させ、特別支援教育の理念の浸透と本校教育活動の理解・啓発を推進する。 ⑮⑯

7 重点取組事項項目ごとの評価

※○内の番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

重点取組事項
(1) 教職員相互の信頼・協力を基盤とした働きやすい環境の改善・整備 ③④
(2) 安心・安全で学びやすく健康的な教育活動の整備・充実 ⑥⑭
(3) 目指す資質・能力とともに、社会のニーズを踏まえた適切な教育の追究⑦⑧
(4) 児童生徒の能力や特性等を踏まえた適切な教育の追究 ⑩⑪
(5) 関係機関との連携強化による教育効果の向上 ⑫⑬
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実 ⑮⑯

8 保護者・学園職員による評価

- (1) 対 象 : 本校の保護者112人(戸)、学園職員5人
- (2) 実施期間 : 令和3年12月17日(金)～令和4年1月14日(金)
- (3) 内 容 : 11の評価項目
- (4) 評価方法 : 4段階評価「4・3・2・1」と「0」

「4：そう思う」「3：ややそう思う」「2：あまりそう思わない」
「1：そう思わない」「0：分からない(見えてこない)」

(5) 集計結果

(ア) 回収率 : 94.0%(110人) 昨年度94.8%

昨年度に比べて、若干回収率が下がっている。3学期始業式を〆切としていたが、コロナ禍による自宅待機期間や分散登校期間等のために、回収の言葉掛けが行き届かなかったことが考えられる。

(イ) 項目ごとの集計結果について

昨年度より評価が低くなった項目が1項目「地域とのふれあい・社会参加」があるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な行事が中止となってしまったことが関係していると感じられる。その他の項目については、全体的に高い評価をいただいた。要努力度(2, 1の評価の割合)が高い順に見ていくと「進路指導」、「相談への対応」の項目で今後、対策や改善を図っていくことが必要である。

令和3年度 学校評価(保護者・学園)結果											
＜評価基準＞ 4: そう思う 3: ややそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない 0: 分からない (見えてこない)											
評価項目	評価の視点	R2	R3	評価基準 (内訳)					計	要努力度 (2.1の割合)	
				4	3	2	1	0			
1	安全な教育環境	大島養護学校(以下、学校)は、児童生徒の健康安全や事故防止に十分配慮して、教育活動を行っていますか。	3.76	3.80	89	18	2	0	1	110	1.8%
2	整理整頓設備充実	学校は、物品が整理整頓され、施設設備が充実していますか。	3.60	3.68	75	28	0	2	5	110	1.8%
3	生徒指導	学校は、児童生徒が明るく生き生きと学校生活を送れるように適切な生徒指導等を行っていますか。	3.61	3.75	85	21	3	0	1	110	2.7%
4	個に応じた指導	学校は、児童生徒一人一人の状態や特性を理解し、生きる力(確かな力、豊かな心、健やかな体)を身に付けさせるために、個に応じた指導を行っていますか。	3.59	3.72	84	23	1	2	0	110	2.7%
5	進路指導	学校は、児童生徒の発達段階や保護者の願いを理解して、適切な進路指導を行っていますか。	3.61	3.72	83	21	5	0	1	110	4.5%
6	個別の教育支援計画及び指導計画	学校は、個別の教育支援計画や個別の指導計画において、保護者や学園担当者と連携して、具体的に分かりやすいものを作成していますか。	3.67	3.71	81	24	4	0	1	110	3.6%
7	理解・啓発	学校は、PTA総会や学級PTAなどで、教育目標や教育内容を分かりやすく伝えていきますか。	3.62	3.70	79	27	3	0	1	110	2.7%
8	児童生徒の情報の提供	学校は、児童生徒の日頃の学習を学級通信や連絡帳などで適切に分かりやすく伝えていきますか。	3.72	3.80	88	20	1	0	1	110	0.9%
9	相談への対応	学校は、保護者や学園担当者が児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか。	3.66	3.80	92	11	4	1	2	110	4.5%
10	地域とのふれあい・社会参加	学校は、児童生徒が地域や社会の中で豊かに生活できるような機会作りを努めていますか。	3.53	3.52	67	32	10	0	1	110	9.1%
11	学校行事などの情報提供	学校は、学校行事や教育活動の様子をホームページや学部だより、PTA新聞等で適切に情報を提供していますか。	3.65	3.77	84	23	1	0	2	110	0.9%

10 分析

(1) 教職員による自己評価の結果について

○ 課題項目 (0項目 / 16項目中)

○ 成果項目 (15項目 / 16項目中)

→ 成果項目 15項目中、14項目で、中間評価時よりもA評価の割合が上昇。

特に、ホームページ更新の項目については、30.3%から62.7%に上昇。

○ 成果項目を目指す項目 (1項目 / 16項目中)

⑪ 大島スタンダード、授業改善シート等の活用と改善を通して、主体的で対話的で深い学びを目指した授業実践及び学習評価の充実を図っているか？

→ 中間評価時よりは、Aの割合は上昇しているが、成果項目の基準には満たない。
(27.3% → 32.8%)

- ・ 職員研修の中で、2学期にグループごとに1回の授業実践を行い、授業研究を実施。授業改善シートを使って、授業計画から評価までの流れを確認したが、普段の授業全てに汎化できていないことを課題と捉えている職員が多い。
- ・ 授業改善シートのさらなる改善について、今後の課題と言える。

(2) 保護者・学園職員による評価の結果について

概ね、良好な評価をいただいたが、項目を細かく見ていくと「2 あまりそう思わない」、「1 そう思わない」の評価が全体の5%に近づいている要努力項目がいくつかある。「2」「1」の評価の割合を要努力度という。以下、要努力度と標記)特に、「進路指導」、「相談への対応について」の要努力度の割合が高い結果となった。職員の進路指導を含めた特別支援教育における専門性の向上や、教育相談の進め方についても今後の課題として挙げられた。

また、昨年度に引き続き、「地域とのふれあい、社会参加」については、PTA活動や地域交流会、地域の小中高校との交流学习、運動会等の行事への地域の方々の参加等が制限されたことで、「評価しづらい」、「分からない」という回答が挙げられた。直接的交流ではなくても、間接的交流という形での実施を工夫したが、保護者に伝わりにくい部分があったようだ。

その他、自由記述の欄では、「学校行事の案内(年間行事予定からの変更がある時が特に)が遅い」、「通学バス内での児童生徒の安心・安全について」、「個に応じた指導の充実」についてのご意見をいただいた。来年度に向けての課題としていきたい。

(3) 来年度に向けた具体策等

○ 授業改善と学習評価の充実への取組

各教科等を合わせた指導を教科別要素で評価していくことの研修を深めていく

- ・ 授業シートの改善工夫
- ・ 授業の中での、評価場面の設定 等

3ヶ年計画のテーマ研修の流れを確認する(仮)

- ・ 1年次(今年度) 各教科等を合わせた指導とは何か
- ・ 2年次 学習評価の充実
- ・ 3年次 1・2年次の研修をふまえて授業公開

テーマ研修を通して「①大島スタンダード」、「②授業改善シート」を活用して授業改善の進め方について確認する

- ・ 研修の機会に、「大島スタンダード」、「授業改善シート」を活用する。
- ・ 普段の授業作り、授業改善では、これまでのやり方の中で、研修したことを意識できるようになることが目的。毎回の授業の中で①②を使わないといけないわけではない。

○ 教育相談の充実

年2回(5月、2月)の教育相談期間の充実

- ・ 個別の指導計画を基にした、指導の経過についての共有。
- ・ 連絡帳や学級(学年・学部)通信を通じた、情報提供。
- ・ 学級PTA、授業参観等を通じた、児童生徒の学習の成果の披露。
- ・ 電話相談や来校相談など、個に応じた教育相談(随時)

○ 職員の特別支援教育における専門性の向上

進路指導における職員間の情報共有

- ・ 進路便り発行による職員と保護者への情報発信。
- ・ 長期休業中における職員の進路指導に関する研修。
- ・ 個に応じた進路相談(本人や保護者の希望や思いに寄り添いながら)

個に応じた指導の充実

- ・ 年度初めに個別の指導計画作成における職員研修の実施
- ・ 年5回定例ケース会を実施し、児童生徒への指導の経過報告や指導改善への取組の充実

○ 通学バス指導体制について

児童生徒の安心・安全な通学指導

- ・ 学期初めの職員による通学バス添乗研修の実施。(添乗員と職員間での児童生徒理解共有)
- ・ 通学バス日誌による、バス内の様子の情報共有。(毎朝校内掲示版で周知)

11 学校関係者評価

※ 学校関係者評価委員5人の方に、年2回開催の学校関係者評価委員会時に評価していただきました。

令和3年度学校関係者評価集計結果（最終）

4：そう思う 3：やや思う 2：あまり思わない 1：思わない

評価項目	観 点	評 定	御意見がありましたらご記入ください
自己評価の実施に関する評価	○ 自己評価のアンケートは重点目標など具体的な目標や計画を評価する内容になっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価のアンケートの内容は学校の取組を客観的に評価できるものになっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
自己評価結果を踏まえた改善策に関する評価	○ 自己評価の結果の分析と考察は適切になされていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価の結果は、学校経営の改善に役立つものになっていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価結果を踏まえた今後の改善策は明確に示されていたか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
学校関係者評価委員会に関する評価	○ 学校関係者評価委員会の資料は、わかりやすくまとめてあり不備はなかったか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 学校関係者評価委員会は活発な意見交換を行う環境（雰囲気）であったか。	4. 0	【4. 4. 4. 4. 4】
その他 （自由記述） 評価委員会で知りたいことなどについても御意見をください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でのいろいろな取組の工夫等、大変だったかと思います。お疲れ様です。 ・ 子供たち、先生方の表情から、楽しい学校生活が送れていることが感じられます。今後も、地域の一員として、学校に力になれることがあればおっしゃってください。 ・ 保護者アンケート自由記述意見への学校としての対応を保護者に誠意をもって対応していくことが大切。あおれが全職員と保護者の信頼関係の構築につながり、足腰の強い学校経営ができると確信しています。 ・ いつも児童生徒一人一人に真剣に向き合っている先生方に頭が下がります。 		